

2020年度 委員会事業報告書

担当専務理事 星野功至

事務局長 石川裕之

1. 委員会開催日 (12回)

1 / 9 2 / 6 3 / 12 4 / 9 5 / 14 6 / 11 7 / 9 8 / 6
9 / 10 10 / 8 11 / 5 12 / 3

2. 事業報告

- | | |
|---------------------------|---|
| (1) 定時総会・臨時総会の担当 | 1月30日・ 8月25日・ 12月22日 |
| (2) 総会の記録管理 | 1月30日・ 8月25日・ 12月22日 |
| (3) 賀詞交歓会(1月例会)の担当 | 1月27日 |
| (4) 西尾張6 J C合同例会(9月例会)の担当 | 9月18日 |
| (5) 公開討論会の担当(飛島) | 3月(中止) |
| (6) 委員長、副委員長セミナーの設営 | 2019年 8月20日 |
| (7) 合同予定者委員会の設営 | 2019年 9月 2日 |
| (8) 名刺作成の窓口 | 2019年 9月 |
| (9) J C会員名簿に関する窓口 | 2020年11月 |
| (10) 定款諸規定及び会員名簿の作成 | 2020年12月 |
| (11) 誕生日祝い品の選定 | 2020年12月 |
| (12) ネームタグ、スローガンパネルの作成 | 2019年12月 |
| (13) 理事会ネームプレートの発注 | 2019年12月 |
| (14) シニアクラブ総会の担当 | 1月27日 |
| (15) 基本資料の作成 | 1月 |
| (16) 委員会表彰及び100%祝い品の選定 | 12月 |
| (17) 卒業生記念品の選定 | 12月 |
| (18) 西尾張6 J C正副理事長会議の担当 | 2020年10月27日
2020年 2月25日・ 4月21日・ 6月23日・ 8月24日・ 10月27日 |
| (19) 理事会議案の作成・精査 | 通年 |
| (20) LOMポロシャツの発注 | 通年 |
| (21) 定款諸規定の見直し | 通年 |
| (22) LOM運営マニュアルの見直し | 通年 |
| (23) 慶弔の窓口 | 通年 |
| (24) 各諸団体の事業に関する窓口 | 通年 |
| (25) 総会・例会の出席者確認報告 | 通年 |
| (26) 新入会員の拡大 | 通年 |
| (27) 新入会員の育成 | 通年 |
| (28) その他の庶務 | 通年 |

委員会メンバー

石川裕之 高木伸也 高島大輔 高嶽佑基

2. 反省点及び申し送り事項

事務局では浅井理事長が掲げる「游原実光～誠の姿勢で激動の時代に挑み、光輝く海部津島を次代へつなぐ～」のスローガンのもと、事務局運営を行ってまいりました。

理事会運営において、予定者段階から資料提出期限を厳守させることができず、期限内に提出できなければ、上程を認めないという方針で厳しくすることも考えましたが、改善されることを願いその流れを変えることができませんでした。そのため、資料精査が十分ではない議案を上程することにより、指摘事項が多く長時間の理事会になり、理事会構成メンバーの方々にはご迷惑をおかけしたことを深く反省しております。資料提出期限の徹底を促すだけではなく、現状把握の為に連絡を密に取ることで改善できたと考えます。

また、今年度より理事会構成メンバー間でデータ共有可能なD r o p b o xを用いることで、審議議案の修正したものを理事会の場で再配信を行う際に円滑に配信できると考えておりました。予定者期間中には積極的に活用しておりましたが、ネット環境の問題もあり、従来のUSBメモリで配信することとなり再配信の議案に関してはスムーズに行うことができませんでした。改善策としては、事務局のインターネット環境が古いものとなっており、現在使用されているADSL回線は2023年1月にサービスを終了すると発表されていますので、光回線への移行を検討してもいいのではないかと考えます。他の方法としては、修正箇所を印刷し配布するのか、議案修正箇所の写真を撮りLINEにて展開し理事会構成メンバーで確認するなど、適宜対応方法を変えることも必要かと考えます。

総会運営に関しては、2年目の理事として細心の注意を払って恥ずかしくない設営、運営をおこなってまいりました。3回の総会に関してしっかりと設営できたと感じますが、出席率に関しては1年間を通して高めていくことができず反省点となります。総会の重要性は常に参加しているメンバーは理解していただいておりますが、海部津島青年会議所における最高の意思決定の場であることを繰り返し伝えていく必要があり、委員長の皆様と連携し働きかけていくことで意識が高まっていくのではないかと考えます。また第164回臨時総会では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、初めてZoomを使ったWeb総会を開催しました。総会の特有の厳粛な雰囲気を出することが難しく感じました。しかし、出席率は本年度開催させていただいた総会の中では一番高く、移動時間を考慮しなくても参加できる観点から次年度以降も状況次第では、活用していくことも必要かと考えます。

賀詞交歓会（1月例会）においては、日頃より我々の活動に対してご理解とご協力をいただいている方々をお招きし、浅井理事長から2020年度の運動指針が力強く発信されたことで、我々の運動に対してさらなるご理解を得ることができました。設営に関して、滞りなく設営できたかとは思いますが、例会の事業報告でも述べさせていただいた通り、細かいミスなどはあり例年行われている賀詞交歓会とは思わずに、議案上程段階から資料精査をする必要があります。また今年度は例年とは違う会場で賀詞交歓会を開催しましたが、当日を見据えた準備や会場での打ち合わせを何度も重ね、メンバー、来賓の方の動線を想定した上でリハーサルを行い、例年とは違う会場を使用した場合でも十分に対応できることから、次年度以降で会場選定をする上で選択肢が増えたのではないかと考えます。

年間を通して、LOMメンバーの手本となるような行動をし、例会、事業では事務局メンバーが率先して参加し、事務局として一致団結している姿をみせ、事務局の担いを確実にできるように心掛けてきました。しかし、LOMの現状では、我々の姿勢だけではなく、周囲を巻き込み、積極的な声掛けをおこなっていき、委員会の垣根を越えてメンバーともっと深く関わり自分事として何事にも取り組むことが必要であったと反省しております。

以上を事務局の反省点及び申し送り事項とさせていただきます。

3. 委員長所見

事務局長の役職を担わせていただき、前年度の委員長職とは違った悩みや学びを多く得ることができまし

た。昨年多くのことを経験させていただき、多くの失敗を本年度に活かすべく、同じ失敗はできないと自分にプレッシャーをかけ、委員長の方々に対して頼られる存在でありたいと考えておりました。しかし、実際には自分の経験を伝え、私と同じ過ちをおかしてほしくないと思っていましたが、苦しい姿の委員長の方々をみると、結果的には寄り添っていなかったこととなります。声を掛けるタイミングや気持ちを察して、その人にあった指摘の仕方など、接し方まで考えることができず、基本方針に掲げた想いを実現することができなかつたことを深く反省しております。

事務局メンバーである3人は、セクレタリーと理事会運営という担いに前向きな姿勢で自ら考え、行動し続けたことにより、事務局基本方針に掲げた用心堅固の姿勢を1年間通して邁進していただきました。同じ時間を共有できたことを嬉しくもあり、誇らしくもある非常に恵まれたメンバーでした。次年度以降も存分に力を発揮していただきたいと思っております。

事務局の担いとして、組織の連携や調整を図る部分では多々反省をしなければいけません。事務局長として得た経験を次年度以降に活かし、今後の活動の糧とさせていただきと思っております。以上で私の所見とさせていただきます。

4. 収 支 決 算

収入の部				支出の部			
予 算		決 算		予 算		決 算	
事業費	273,660	事業費	149,828	(5)	65,000	(5)	0
				(10)	260	(10)	48
				(11)	38,000	(11)	29,250
				(15)	400	(15)	300
				(16)	50,000	(16)	42,350
				(17)	120,000	(17)	77,880
合 計	273,660	合 計	149,828	合 計	273,660	合 計	149,828